



はばたく

学校だより
平成25年度
5月15日発行
手ノ子小学校

創立140周年記念式(5月1日)

手ノ子小学校は、今年の5月1日で、創立140周年を迎えました。
当日はお忙しい中、飯豊町教育委員会 教育長 佐藤 晴樹 様はじめ、たくさんのご来賓の皆様にご臨席を賜りました。今年は記念すべき年ということで、各部落の部落長の皆様、PTAの役員の皆様にもご臨席をいただきました。

創立100周年記念誌をみると、手ノ子小学校の始まりは、明治6年5月に、手ノ子村と高峰村が協力して手ノ子の源居寺（げんこうじ）に「手ノ子学校」を開いたのが始まりと書いてあります。全国に学校をつくるよう国から命令があった学制発布から一年も経たないうちにできたのですから、地域の方々がどれほど学校の必要性を感じ、期待していたかがわかります。当時は、児童が23名、先生が4名で、読み書きの2教科を学習していたようです。

それから140年間、学校の名前が変わったり、分校ができたり、場所が変わったりしましたが、5000名を超える人たちが卒業し、社会の様々な分野で活躍しています。

現在の校舎ができたのは、昭和56年7月8日です。今から32年前になります。昭和56年3月に発行された学校文集「しらかわ」第14号に、創立記念日の作文が載っていました。

「創立記念日」

6年 渡部 康則

今日は、手ノ子小学校のたん生日です。この学校は、今年で107才にもなりました。いままでの間に、たくさんの入学生をむかえて、そして、りっぱに育ててきたのだと思います。昔は、プールもなかっただろうし、遊び道具も少なかったと思います。特に、戦争のころは、食べ物も少なかったし、学用品もたりなかったそうです。今のぼくたちは、とてもめぐまれているんだなあと思います。

それに、今年は、新しい校しゃもたちます。新しい校しゃは、3階だてで、中は、広くなるそうなので、大へん便利な校しゃになるんだなあと思います。でもそのために、今までの校しゃは、こわされてしまいます。6年間もこの校しゃでくらしただけで、なんだかさみしいような気がします。それに、長い歴史の中で、ぼくたちがこの校しゃを使う最後になるのだから、最後まで、だいじに使っていかなければ、とも思います。

この学校には、いろいろな賞状や、トロフィーがかざられています。健康優良校になった時の賞状もあります。ぼくは、放送委員なのですが、放送室の中にも古い賞状がありました。これは、ぼくたちの先ばいが、いっしょうけんめいがんばったしるしだと思います。ぼくたちも、古い校しゃから新しい校しゃにかわっても、いままでの手ノ子小の良いところをひきついで、今よりもっと良い学校にしていきたいと思います。

校舎の一部が完成したので、康則さんは、新しい教室に少しの期間入って学習ができたようです。

「先輩が一生懸命頑張った証のある古い学校。たとえ古い校舎から新しい校舎に変わっても、これまでの手ノ子小の良さを引き継ぎ、さらに良い学校にしていきたい。」という康則さんの思いは、今でもしっかり受け継がれているように思います。

今年度より、中津川地区の子どもたちも手ノ子小学校に通学することになりました。それぞれの学校の伝統や良さを活かして、さらにすばらしい手ノ子学校にしていきたいものです。

私は、創立記念式の意味は、一つ目は、**創立当時やその時々の人々の思いを知り、自分たちが当たり前だと思っていることが、実は多くの人々の努力やご苦労によってできているんだということを知る**ことだと思います。二つ目は、**学校の歴史を知り、自分たちの学校に誇りを持ち、さらに高めていこうとする意欲を持つ**ことだと思います。

お家の方や地域の方々が子どもたちや手ノ子小学校にかける熱い思いは、昔と少しも変わっていません。**140年間という長い歴史をかみしめ、手ノ子小学校で学ぶことに自信と誇りを持つ子どもたちに育てていきたい**ものです。

* 当日は、6年生による「校章」や「校歌の歌詞」の意味など自分たちで調べたことの発表がありました。とても工夫されたすばらしい発表でした。

第2部では、本校の卒業生である 手塚 娃子 さんより当時の思い出と「花咲き山」の読み聞かせをしていただきました。これから子どもたちは、自分のところにどんな花を咲かせてくれるでしょうか。「思いやりの花」「勇気の花」…

ギャラリーに、子どもたちの作品、これまでの学校文集、昔の教科書、木造校舎の絵などを展示しました。

140周年を記念して玄関に「手ノ子小 140年の歩み」を掲示しました。来校の際はご覧下さい。

また、子どもたち全員に140年の歩みのプリントを配付しました。ご家庭でご覧いただき、当時の様子など子どもに話していただければと思います。



< 6年生発表 >



< 手塚 娃子さん >

授業参観・PTA総会ありがとうございました

4月21日（日）に授業参観とPTA総会がありました。

授業参観では、今年度から1年間に3回ある授業参観のうち少なくとも1回は、保護者の皆さんに授業に参加してもらう「**学習参加**」をどの学級でも実施することにしました。これは、**保護者の皆さんにも授業で子どもたちにかかわっていただき、協力して子どもたちを育てていこう**というものです。早速、6年生では家庭科の裁縫の時間に学習参加を実施しました。**子どもたちの生き生きとした表情、保護者の皆さんの温かい眼差しが印象的**でした。

PTA総会では、今年度の学校経営についてお話をさせていただきました。今年度も学校づくりの柱を『**響き合い**』にしました。これは、『**響き合い**』を基盤とした**学校づくりを行えば、子どもたちに「自分を大切に思う気持ち」と「他の人とかわる力」を育てることができ、「自立」につながる**という考えです。山形新聞に精神科医の 明橋 大二 先生が「**本当の強さとは、他とつながること**だと思っています。人は一人では生きていけないことを知り、必要に応じて、他の助けを求められること。人を信頼し、他とのつながりの中で生きていくこと。…」と書いています。**私たち教員と保護者の皆さんが協力して、「自立」できる子どもたちに育てていきたい**ものです。



< 1年生授業参観 >



< 3年生授業参観 >



< 6年生学習参加 >